もし、あなたの身近な人だったら…

生きづらさに寄り添う



～あなたのそばにも・・・～

私たちは誰もが、日々の生活の中で不安や悩みを抱えながら生きており、学校や仕事、人間関係の中で思うようにいかないこともあります。不登校やひきこもりも、特別なことではなく、そうした生きづらさの延長にあるものかもしれません。今回、このテーマの講座を２回続けて開催しました。講師のメッセージを通して、不登校やひきこもりについて考えてみたいと思います。

増え続ける不登校・ひきこもりに対して、できることは…

不登校やひきこもりは、心身の不調や人間関係、学校、仕事での体験、環境の変化などさまざまなことが重なって起こるといわれています。友人との関係に悩む、環境が変わって不安になることは誰にでもあることです。だからこそ、不登校やひきこもりは、誰もが当事者になる可能性がある身近な問題といえるのではないでしょうか。

不登校・ひきこもりが当事者をダメにするのではなく、不登校・ひきこもりをダメと思っている人たちが、当事者の未来をダメにする。



不登校やひきこもりは自己防衛。これ以上、我慢して学校や会社にいくと自分が壊れてしまうから、やむを得ずこうしています。

教育文化研究所
長阿彌　幹生 先生
（ちょうあみ みきお）

では、不登校・ひきこもりの原状はどうなっているのでしょうか。

文部科学省の調査では、令和６年度の小・中学校の不登校児童生徒は約35万４千人にのぼり、小学生は43人に１人、中学生では15人に１人が不登校という計算になります。また、ひきこもり状態にある人は、内閣府の令和４年度の調査で15～64歳に約１４６万人いると推計されています。

【私たちにできること】

Q：不登校･ひきこもりは、なまけなのでしょうか？
A：決してそうではありません。自分を守るために取った行動かもしれません。

➡『見方を変えよう』

Q：本人を支える家族は、誰が支えるのでしょうか？
A：家族もその対応に悩み、迷い、疲れていきます。悩みを一人で抱え込まないようにすることが大切。

➡『家族も支えられる存在』

（聴く・寄り添う・つなぐ 気持ちで）

社会福祉法人 日本傷痍者更生会

高齢者部門
特別養護老人ホーム / ショートステイ / 居宅介護支援事業所　恵の家
ショートステイ　ふれ愛
デイサービスセンター　いこいの里
小規模多機能型居宅介護事業所　ゆい
介護老人保健施設 / 通所リハビリテーション / 訪問リハビリテーション / グループホーム　更生会 にじの郷
サービス付き高齢者向け住宅　クレア

子ども部門
児童養護施設　報恩母の家
放課後等デイサービス　学童ふれ愛
小規模保育所　ひよこ保育園
里親支援センター　リンク
児童発達支援センター　くすのき

障がい者部門
障がい者支援施設 / 就労継続支援B型　希望舎
相談支援事業　リアン

高齢者･障がい者･児童のことなら何でもご相談ください♪